



FUKUOKAI
JIYUGAOKA
HIGHSCHOOL
ALUMNI ASSOCIATION

発行 福峰会事務局
編集
〒807-8586
北九州市八幡西区
自由ヶ丘1-1 耕雲館4F
Tel fax (093) 692-0278

福峰会だより

VOL. 16

会長挨拶 福原 悟

昭和四十九年普通科卒業

「総会開催に寄せて」

福峰会会員の皆様におかれましては、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

平成二十五年度同窓会「福峰会」総会が、御来賓、恩師そして母校の先生方の御臨席を頂きこのように盛大に開催できますことは誠に喜びに堪えません。厚く御礼申し上げます。

母校の母体である福原高等学院から今年で六十七周年を迎え、三万一千余名の卒業生を輩出する県内の私立でも有数の伝統校となってきました。卒業生は、地元北九州市はもとより国内外において政界、財界、文化、教育等様々な分野で活躍されています。

母校は八月、硬式野球部が第九十五回全国高等学校野球選手権大会で甲子園に初出場を成し遂げました。今回の夏の大会初出場は、三年前の春の第八十二回選抜高等学校野球大会への出場とともに学園創設者故福原重造先生の願いでありました。このように母校の後輩たちが全国で活躍していることは、私たちに誇らしいことです。

今回の甲子園出場に際しましては、全国の卒業生・各関係者の皆様方から温かい御支援、御声援を頂きました。この紙面を借りましてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。



学校長挨拶 福田 敬治

福峰会 名誉会長

「魅力ある学校創り」

時下、福峰会会員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。このたび平成二十五年度福峰会総会が盛会に開催されますことを、全国各地で御活躍されている会員の皆様と共に、心よりお祝い申し上げます。

また、平素から母校の教育振興のために、格段の御支援を賜りまして、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

今般自由ヶ丘高等学校は、待望久しき夏の甲子園大会の出場を果たすことができました。建学以来の快挙に、学校はもとより地域を挙げて、その栄誉と高揚感に浴することができました。これも、ひとえに会員の皆様の御支援と激励の賜物であり、皆様方とこの喜びを分かち合いたいと存じます。

日頃の練習を彷彿する澁刺プレーと全国の球児との交歓に人間的成長を刻む選手たち、あるいは全校応援を通じて連帯や社会規範を学んだ生徒たち。改めて甲子園は、教育の場としても昇華し得たのではないかと感じています。

また、この秋本校は皆様方のおかげをもちまして念願の新グラウンドの完成をみる事ができ、本年度の体育祭は、そのごけら落しとして開催することができました。同施設は、近年の教育環境整備の核として、授業の充実と部活動活性化



ございました。さて、同窓会総会は、一年の活動状況を発信するとともに、恩師並びに母校の先生方を始め先輩や後輩の皆様と旧交を暖めいつその絆を深める会です。

今年の総会は、学園内の九州共立大学自由ヶ丘会館（ツインホール）での開会です。近くには道路に沿って、母校の旧八幡高等学校の跡地があり、現在は学園の駐車場となつています。昭和三十五年の完成当時の外壁は白色で「白亜の殿堂」と呼ばれモダンな校舎でしたが、昭和五十八年に防衛庁防音事業により、防音サッシとチョコレイト色のタイル張りの校舎に化粧替えされました。この跡地の一角には、八幡西高校の思い出を伝える校訓を刻み込んだ卒業記念碑と記念樹ヒマラヤスギそして八幡西高校の歴史を今に伝えるパネルが設置されています。

西校・女子校を卒業された皆様におかれましては、遠い思い出となってきましたことから今回、総会の会場を学園の中で実施することではしばしの間、高校時代に戻って、話を花を咲かせていただければと思います。最後に当番期の幹事・実行委員の皆様には、大変お忙しい中、総会の企画運営に力を注いでいただきましたことを、心より感謝とお礼を申し上げ御挨拶とさせていただきます。

への機能が大きいに期待されます。さて、自由ヶ丘高等学校は、平成十四年の開校以来、幾多の改革を経験し、おかげをもちまして進学校として一定の評価をいただくようになりました。

これらを維持しつつ、自由ヶ丘高等学校のさらなる発展を促す将来ビジョンを次のように考えています。一つ目は、「自律処行」の教育理念のもと、生徒が自ら考え、行動を伴って将来の進路を切り開くことのできる人格と学力の形成を目指す学校。二つ目は、多様化する生徒の進路目標と幅広い学力差の中にあつて、知育・徳育・体育の調和のとれた教育を実践する学校。三つ目は、生徒・職員が「同時成長を図る」授業・学校行事を実践し、地域に根ざした質の高い教育を実践する学校。四つ目は、安定した入学者数が確保され、盤石な学校経営基盤を図れる学校。

この四つのビジョンの下、困難な社会状況を乗り越え、教職員が一丸となり、生徒と共に「魅力ある学校創り」に取り組んでいるところです。同窓生の皆様には、さらなる御協力・御支援を賜りますようお願い申し上げます。最後に、当番幹事の皆様の御苦勞に對しまして、深甚なる敬意を表しますとともに、福峰会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念しまして、御挨拶いたします。

自由ヶ丘高等学校「校歌」

作詞 小堺 宇市
作曲 坂本 不二夫

昔を語るか 遠賀の流れ
宝庫 筑豊 扉開かん
福祉日本の 希望讀んで
若人羽搏く 自由ヶ丘
あゝ 其名燦たり 福原学園

黒煙みなぎる 工都八幡に
男の子我いざ 叡知磨かん
女 我いざ 文化染かん
若人羽搏く 自由ヶ丘
あゝ 其名凍たり 福原学園

帆船 船影 近く見なして
理想輝く 平和佳き郷
若人羽搏く 自由ヶ丘
あゝ 其名燦たり 福原学園

自由ヶ丘高等学校「讃歌」

作詞 阿部 誠文
作曲 松宮 敬

丘の上には 白い雲
風が背中を押していく
私と君との出会い
君と私との出会い
人生は自分さがしの旅
新しい日々がやってくる
雲の上にはいつもいつも青い空
明るい世界が待っている

河は流れて海につく
海は世界の岸につく
私は私のままがいい
君は君のままがいい
自分を信じて自分らしく
明日を信じて無理をしないで
雲の上にはいつもいつも青い空
どこかに愛する人がいる

明日という希望を乗せて
時の船は流れてくる
自分に良いことしよう
友に良いことしよう
一人一人がいのちを抱いて
そしてそしてさあ始めよう
雲の上にはいつもいつも青い空
光の花束贈りたい

がんばっています OB・OG

カクテルの世界へ

「お客様が満足できること」

九州共立大学 八幡西高等学校 昭和59年 普通科卒業 井口 尚久

私は大学卒業後、バーテンダーとして飲食の道に進みました。以後25年間バーテンダーとして現在、黒崎のBAR「凜」で勤務しています。食文化をとおして、ご来店された方々の心を少しでも豊かに出来ればという思いで毎日カウンターに立っています。

お店の中では、いろいろな人生のドラマがあります。結婚記念日のお祝いや、会社を定年で引退される方の送別会など感動の場面がいっぱいです。そういう場に立ち会い、また少しでも、その主役の方々の人生のページに関われることを幸せに思います。

今年は福峰会総会当番幹事として、卒業以来はじめて母校の同窓会行事に関わらせて頂きました。

自分の仕事に誇りを持って生き続けること、自分の出来ることは惜しみなくすること、これが私の身上です。皆様の人生が華やぎのある人生でありますことを祈念申し上げます。

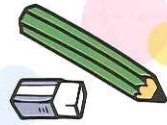


プロフィール

日本バーテンダー協会
北九州支部 副支部長
2007年サントリーカクテルアワード
上位入賞
黒崎「繁盛会」 副実行委員長
BAR「凜」
北九州市八幡西区黒崎1-13-1
黒崎25番ビル

教育実習生紹介

再び母校で 過ごす日々を迎えて



平成20年 普通科アドバンス進学クラス卒業
島根大学4年生 総合理工学部物質科学科 竹下 隼人

5月下旬から3週間、教育実習生として再び母校で過ごす日々が訪れました。登下校中に目にする景色、学校に響く元気な生徒たちの声、耳になじんだチャイムの音…。そのすべてが高校時代の懐かしい記憶を呼び起こしてくれました。

全クラスの名称が大きく変わっていたこと、「体育コース」「看護科」が廃科になっていたことに驚きを感じ、月日の流れを感じずにはいられていませんでした。しかし、お世話になった先生方と生徒たちの先生方への挨拶の習慣は残っていたことには嬉しく感じました。

その一方で、教育実習生という立場から接する母校は、高校生の頃とは全く違う一面を見せてくれて、毎日新しい発見と驚きがありました。熱心な先生方に見守られ、当時の自分では気付かなかった母校のすばらしさを再発見できたことをとても嬉しく思うと共に、先生方や私の高校生活を支えてくださった方々への感謝の思いが湧き上がりました。

教員を目指す上でごわずかですが、教師としての大事なことを今回の教育実習で学ぶことができたと思います。

一枚の写真

恩師の優しさ

九州女子大学附属高等学校
昭和42年 家庭科卒業 酒井 文恵



一列目向って左から3番目鶴先生、4番目酒井さん
クラス会 鶴泉寮にて

昭和39年東京オリンピック・東海道新幹線開通の年に、私は九州女子大学附属高等学校に入学しました。当時の校長先生は、今年3月に百歳の誕生日を迎えられた福原ツルヲ先生でした。通学は折尾駅から学校へまっすぐに伸びた、中央車線のない狭い浅川通り（現 学園通り）を通いました。正門を入ると正面に白い外壁の校舎（現 女子大校舎）、手前の庭園には今はないテニスコートと噴水がありました。

一枚の写真は、26年前（昭和63年）、高校2年生の時の担任であった鶴静子先生（旧姓 西村）を招いて女子大敷地内の寮（鶴泉寮）でクラス会を開いた時のものです。高校生の多感な時期、私達は楽しさだけが先行してしまっていたので先生にはいつもご迷惑をかけることばかりでした。先生はこのような私達でも、厳しさと優しさで指導して下さるとともに、悩み事の相談にも真剣に乗ってくださいました。先生はいつもおしゃれであったことが印象深く、思い出として残っています。

今年の同窓会の懇親会には、再び先生が遠方から出席して下さることになり、久しぶりに恩師や級友に会える同窓会を、とても懐かしく嬉しく思っています。

その後、レスリング以外の社会勉強をするために、IT企業に就職。そこでは、中国で合併会社を立ち上げるプロジェクトへ参加。中国では、日本の高校生と同年代の地方出身者が多く仕事・生活面の指導も行いました。帰属意識が希薄な世代であったため、意識改革をするのも一苦労でした。現地社員一八〇人全員を同じ目標に向かせるために、個人面談を実施することで、意識改革は徐々に手応えを感じ取ることができました。失敗することでも多々ありましたが、失敗した時にどのような行動するかでその後の結果が変わることを会社員時代に学ぶことができました。

自由ヶ丘高校には、目的意識の高い生徒が集まっています。夢や目標を実現するには、なりたい自分をしっかりと定め強く願う努力し続けることが大事です。それは、1人では難しいことです。仲間を大切に、努力し合うことで達成できるのではないかと思います。人生の先輩として私の経験を、これから社会へ出て行く生徒に少しでも役に立てていただけるように接することができればと思います。



保健体育科 江中 和世先生

レスリング全日本チームのスタッフから、外資系企業に勤務、そして、新鮮な感動を胸に教師へと転身

「社会で活躍
できる人間に」

先生の素顔

球児の聖地「甲子園」初出場 ~2013夏~

自由ヶ丘高等学校野球部は、第95回全国高校野球選手権大会に初出場を果たした。昨秋の新チーム結成以後、昨秋の県大会は4回戦、今春もベスト8止まりであった。今春、赤嶺監督が就任し、少しずつつなぐ野球がチームに浸透し始めた。今夏の福岡県大会では、主将野田を中心に、好機での勝負強い打撃が目立った。投手陣は、2年生の久保が軸として活躍。同じシード校で春の九州大会を制した久留米商業を破ると、準々決勝では春の県大会優勝の東海大五に9回2死から集中打で逆転サヨナラ勝ちで、勢いに乗った。準決勝の九産大九州には、自由ヶ丘が小技を絡めて着実に加点し駒を決勝へ進めた。決勝はノーシールドながら、足を絡めた多彩な攻撃と堅い守備で勝ち上がった。五校の頂点となり、夏の甲子園初出場を決めた。

優勝 第95回全国高校野球選手権記念福岡大会



ベンチ入りメンバー

打順	氏名	背番号	ポジション
1	尾崎 雄太	7	7
2	野田 泰右	6	6
3	吉岡 勇輝	4	4
4	渡邊 永幸	8	9
5	中山 一輝	12	5
6	田中 大介	3	3
7	嶋 孔明	9	8
8	久保 拓真	11	1
9	石田 哲	2	2
	永松 憲典	1	投手
	梶原 孝基	5	内野
	古川 立樹	10	投手
	岩切秀一郎	13	内野
	友岡 翔	14	内野
	吉丸 聖人	15	内野
	梅野 貴仁	16	外野
	早野 僚馬	17	外野
	安武 健一	18	捕手

福岡大会決勝までの道のり 自由ヶ丘高校

回戦	対戦相手	スコア	会場
1回戦	延岡学園	6-1	稲築志耕館
2回戦	嘉穂東	3-2	嘉穂東
3回戦	豊国学園	8-2	豊国学園
4回戦	久留米商	5-3	久留米商
準々決勝	東海大五	4-3	東海大五
準決勝	九産大九州	6-1	九産大九州
決勝	南筑	9-1	南筑

第95回 全国高校野球選手権記念大会

自由ヶ丘 夢舞台 堂々と



九州勢対決 自由ヶ丘が延岡学園に敗退 二〇一三年八月十二日

大会5日目の12日、第3試合で延岡学園(宮崎)と対戦し、2-1で惜しくも敗れた。打線は先制点を奪ったが、中盤以降、持ち味であるつなぐ攻撃を相手投手陣に封じられ、夏の甲子園出場での1勝はならなかった。

3回、敵失に犠打などをかき、1死二塁とすると、尾崎の中前適時打で1点を先制。同点に追いつかれた4回には、1死一、三塁から、相手投手が一塁に牽制を投げる間に、三塁走者渡辺が本塁を陥れ、再びリードを奪った。

先発久保は7回まで毎回走

あこがれの夢舞台の幕が開いた。8月8日に阪神甲子園球場であった開会式で、自由ヶ丘の選手たちは元氣よくグラウンドを行進した。

午前9時、気温30度を超える球場にファンファーレに響き渡り、吹奏楽団の演奏に合わせ、入場行進が始まった。自由ヶ丘は42番目に登場。福岡大会の優勝旗を持つ野田泰右主将(3年)が先頭で、ほかの選手が3列に並んで続いた。

者を背負いながら粘りの投球を見せた。だが、1点勝ち越した後の5回、2本の二塁打などで逆転を許し、7回にも2死から連続長短打で1点を奪われた。

打線は二塁打3本を含む5安打を放ったが、つなぐに欠けた。逆転された後も3度の好機を迎えたが、あと1本が出なかった。自由ヶ丘の夏が終わった。

しかし、甲子園にはまた帰ってくることを誓った。



最後まで全力で応援

三塁側アルプス席では、一七〇名の応援。その中に26人のチアリーダー、応援団、ブラスバンドが応援を盛り上げた。チアリーダーは、野球部が春の選抜大会に初出場した二〇一〇年、学校が臨時で集めたのをきっかけに、そのまま部活になった。現在の部員は10人。今回も臨時で募集し、16人の生徒が加わった。

アルプススタンドの生徒たちは、スクリーンカラーの鮮やかな緑色のTシャツと帽子をつけて白のマフラータオルを身につけて応援。メガホンをたたきながら「かっ」と「せー」と声を出した。4回裏に一時勝ち越した時には、大歓声をあげて喜んだ。

試合 平成25年8月12日(月) 第5日目

第2回戦 延岡学園(宮崎) - 自由ヶ丘(福岡)

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
延岡学園	0	0	0	1	2	0	1	0	0	4
自由ヶ丘	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2

また、学校では、甲子園に行けなかった生徒たち約70人が声援を送った。部活の試合があった卓球部やバドミントン部の生徒らが、大型スクリーンに映し出された試合の映像を見守った。

試合は、惜しくも初出場初勝利の夢は果たせなかったが、堂々と胸を張る初陣らしい戦いぶりであった。ゲームセット後の挨拶や相手校の校歌を聞く態度、応援席へのお礼などさわやかであった。1勝には届かなかったが、選手たちの活躍をねぎらった。



活躍する在校生

国際交流

広がる国際的視野 現地で異文化に触れて

平田 瑞希 1年S1組

私は7月28日から1週間タイへ行き、現地での学校へ行きまし。タイでは黄色は王様の色なので、黄色の洋服はあまり着ない方がよいと言われまし。また、年間を通して暑いので、シャワーが冷水しか出ない家も多く、実際に私がホームステイした家もそうでした。食事はほとんどの料理にパクチーなどの香草が使われていて不思議な味がしました。寺院やマーケットなど人の多いところに行くのにスリに会う可能性が高いので、必ず鞆を抱いて持つていなければなりません。日本ではそんなこと気にもしなかったので驚きました。タイの人に「日本はとても安全な国だね。」と言われたことも、海外の人からは日本はそう見えているのかと思いました。

タイに行つて私は、コミュニケーションを積極的にとるようになりました。今まではあまり積極的ではありません

でしたが、日本に帰つて来てからも出来るだけたくさんの人と話すようになつたと思います。今回とても素晴らしい体験をさせてくれたので、もっとたくさん人の国へ行き、文化を知り、もっとたくさんの人と仲良くなりたいと思ひました。将来、日本と海外をつなぐ仕事をしたいと思つていますが、この経験を通じて更に強く思うようになりまし。その夢を実現するために、これからも何事も積極的に頑張つていきたいと思ひます。



←Tharnpanya Schoolにて

中谷 亮太 1年S2組

僕は初めて海外の生活というものを経験しました。日本にはないもの、または違った形のもの存在して、毎日が充実していました。この海外研修で多くを学ぶことができましたが、その中で、驚きだつたことが2つあります。

1つ目に、日本という国がどれだけ恵まれているかということです。タイは幹線道路でも舗装状況が良くないところがあったりしました。そのような点で日本、特に福岡は恵まれていると感じました。

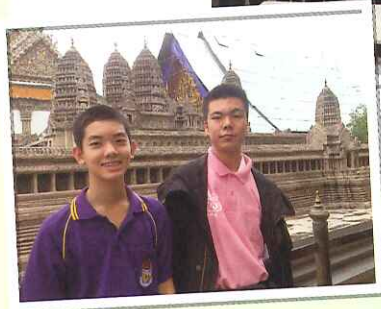
2つ目に、最低限の英語では本当の意味で観光や談話を楽しめないということです。僕は普通の生活に支障がない程度の英語力があるという自信がありました。しかし、友だちのジョークが理解できなかったり、日本の事を説明しきれなかったり、もっと英語力があればと思つた場面が多くありました。

海外に出てみるというのは良い経験だと思ひました。しかしお金や時間がかかるのも事実です。そこで少ないチャ

ンスでより良い経験をするために現地のことを徹底的に調べ、英語力を磨いておくことが重要だと気付かされた研修でした。



↑ Bangkok Christian College にて



←バンコク市内にて

第40回全国高等学校 少林寺拳法大会

姉弟3人で活躍中

9年前、弟はまだ小学2年生の頃に少林寺拳法を習い始めました。道場に通う弟の姿を見て、その4年後には小学5年生で妹も習い始めるようになりまし。日々技術を学び成長していく2人の姿を見て、姉である私が最後に道場へ行き始めたのが2年前で、今に至ります。週3回、地域の小学校や中学校で中間南道院の道長に稽古をつけていただいています。道場には小学生から大人までさまざまな世代の人が集まります。

福岡県の男子は全国的にもレベルがとても高く、惜しくも弟は全国大会まで進むことはできませんでしたが、私と妹は女子の組演武で県大会、九州大会と優勝し、全国大会に出場することができました。全国大会は7月31日(水)〜8月2日(金)まで東京で行われ、CUB UNIONとして参加しました。正式な部活動ではありませんが、私たち3人がきっかけとなり、少林寺拳法部が創部されることを願ひながら、今後もがんばりたいです。



1年A2組 干野 佐紀子 (写真左)
 2年T3組 干野 凌 (写真右)
 3年T5組 干野 佐和子 (写真中央)

陸上競技部

平成25年7月30日〜8月3日の5日間、大分県の大分銀行ドームに於いて全国高校総体(インターハイ)が行われました。

今年本校より、3年川島渥平(一〇〇Mハードル)、3年北崎拓哉(四〇〇Mハードル)、3年湊宏樹(やり投げ)、2年花田研聖(やり投げ)、2年鈴木連(砲丸投)、1年石丸未来(女子砲丸投)の男子5名、女子1名、計6名の生徒が参加しました。その中でも上位入賞が期待されていたのが、一〇〇Mハードルの川島やりの投げの湊、花田、女子砲丸の石丸でした。やり投げの湊は自己記録を更新して決勝に進出したもののあと1歩で及ばず敗退。最終日に行われた女子砲丸投は、予選記録を順当に突破し午後の決勝ラウンドへ進出しました。いよいよ決勝、1投目、2投目と思ひ通りの試合運びが出来ないまま他の

選手は記録を伸ばしていく状況。何とかその後、記録を伸ばして最終的には、1年生ながら6位入賞を果たしました。石丸は全日本中学で優勝しており、高校入学後も高校日本記録・全国大会三連覇を視野に置きトレーニングしてきました。それだけに今回の6位は悔しくてたまらないことだろうが今後の活躍に期待したいと思います。



インターハイに夢を懸けて

バドミントン部

地元インターハイで団体・個人ダブルス3位の快挙達成!

地元北九州で行われたインターハイに、本校バドミントン部は県の代表として男子団体・男子個人単・複・女子個人複の4種目に参加しました。団体は、ベスト8まで残り目標のメダルまであと一勝となりました。相手は、インターハイ一〇〇勝を達成した名将率いる滋賀県代表の比叡山高校です。試合は最後までもつれ、最終シングル勝負になり1セット目16-19で負けてしまいましたが、そこから5点連取して、逆転で1セット目を取り、その勢いのまま2セット目も勝利し、福岡県の男子としては初のベスト4に入りました。

また、個人ダブルスも全国選抜3位の原口拓巳・成富勇太組がインターハイにおいても3位に入り、



見事メダルを獲得しました。ダブルス種目においても、福岡県男子としては初のメダルであり、地元のプロレシヤもありません。良く頑張りました。創部28年長い時間がかかりましたが、福岡県の過去最高の結果に多くの方に祝福を頂きました。卒業生や卒業生の保護者も応援に駆けつけて頂き、ありがとうございました。これを励みに、今後とも努力を続けていきたいと思います。

文化祭・体育祭レポート

「団長は語る」

今年の体育祭は、縦割りブロックで行う2年目の体育祭。各ブロック1・2・3年生混合の約400人を、3年生代表のブロック長や応援団がまとめました。さらに今年は、紅、蒼、翠、全ブロックの応援団長が女子生徒という珍しい体育祭でした。応援団長は午前の部のプログラム最後である応援合戦の戦略を立てたり、ブロックの全員に演技の指示を出しまとめたりという仕事をしました。応援合戦の内容は演武やダンス、またその両方など各ブロックでさまざまです。以下、各団長にコメントをいただきました。

総合優勝 翠



紅
 紅ブロック団長 3年 川副 真璃子

紅ブロックのテーマは「みんなが楽しめるダンス」だったので、時間をフルに使って盛り上がる曲を選びました。練習する度に一人ひとりの意識が高まり、気付けばいつの間にか団結力が生まれていました。応援合戦後「ありがとう」という言葉をみんなからもらい、涙が止まらず、今までにない達成感を味わうことができました。

蒼
 蒼ブロック団長 3年 永島 彩佳

蒼ブロックのダンスは振りが難しく応援団も生徒も苦戦しました。しかしみんな元気でノリが良く、練習がスムーズに進み、短い練習期間でしたが体育祭を成功させることができました。「蒼ブロックでよかった」という言葉をたくさん聞き、涙が止まりませんでした。こんなに素晴らしい体育祭を作り上げてくれた蒼ブロックのみんなに感謝です。

翠
 翠ブロック団長 3年 八岩 鈴奈

団長という大役をさせてもらいましたが、はじめは翠ブロックを上手く盛り上げ、まとめることができませんでした。しかしブロック長や応援団員、先生方などたくさん仲間が私を助けてくれました。仲間のおかげで見事優勝することができ、私にとって最高の一日になりました。私は翠ブロックが心から大好きです。

学校行事を支える生徒会 テーマに込める想い

生徒会長 石津 ちひろ

今年度の文化祭は「彩」をテーマに開催されました。私たち一人ひとりには個性という色があり、一つにし、鮮やかできれいな彩にしたいと考えました。

そして9月7日(土)には「飛翔」をテーマに体育祭が開催されました。この「飛翔」というテーマには、文化祭で美しい彩を放つことに成功したので、その彩をさらには空高く飛翔させたいという気持ちが高められています。

特に3年生にとっては高校生最後の体育祭、またそのうち多くの人が人生最後の体育祭になります。なんと少しでもみんなの心に一生残り続けるような感動の体育祭にしたいと思う、夏休みから準備に取りかかりました。

今年度は、待ちに待った我が高校所有の新グラウンドで、四〇〇mトラックを使い競技を行いました。



新グラウンド 改修工事終了

充実した体育施設でのびのび学校生活

9月生徒たちは、新グラウンドで体育祭実施。

九州女子大学・短期大学グラウンドとして使用されていた自由ヶ丘高等学校体育館横のグラウンドを、今年7月に自由ヶ丘高等学校に移管されたことにより、高等学校所有のグラウンドとして使用するための改修工事が行われ、9月新グラウンドが完成しました。

自由ヶ丘高等学校新グラウンドは、体育授業としてのグラウンド機能、サッカー場、ラグビー場の機能を充分発揮できるように充実させています。

- ① 四〇〇m陸上トラックを確保することにより、授業としての運動場、体育祭の開催、陸上部、サッカー部、ラグビー部の練習・試合の場として、効率的運用が可能。
- ② グラウンドの排水機能を上げることで、整備時間の短縮と、グラウンド使用稼働率の増加が可能。
- ③ グラウンド周囲の積極的な緑化と遊歩道の整備により選手にとって過ごしやす憩いの場とすると共に、学園としての景観の向上。
- ④ 体育館への明快なアプローチ線を作るとともに、競技に必要な運動エリアを確保。

平成26年度 自由ヶ丘高等学校 募集要項 (抜粋)

推薦入学試験 平成26年度 1月28日(火)				一般入学試験 平成26年 2月6日(木)																																	
募集定員 総定員480名の20%程度 出願資格 1 平成26年3月中学校卒業見込みの者。 2 学習・部活動及び生活態度が良好で、出身中学校長の推薦を受けた者。 3 合格した場合、入学の意志が確実であること。 4 志願するコース・クラスの評定基準(3年2学期の評定合計)及び欠席基準を満たす者。				募集定員 総定員480名 (推薦入試を含む) 募集学科・コース																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>コース・クラス</th> <th>評定値合計</th> <th>欠席日数</th> <th>学力特待認定試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スーパー特進クラス</td> <td>38以上</td> <td rowspan="3">3年間で原則30日以内</td> <td>希望者</td> </tr> <tr> <td>特進Ⅰ類クラス</td> <td>34以上</td> <td>希望者</td> </tr> <tr> <td>特進Ⅱ類クラス</td> <td>27以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アドバンスコース</td> <td>23以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コース・クラス	評定値合計	欠席日数	学力特待認定試験	スーパー特進クラス	38以上	3年間で原則30日以内	希望者	特進Ⅰ類クラス	34以上	希望者	特進Ⅱ類クラス	27以上		アドバンスコース	23以上			<table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別進学コース</td> <td>200名</td> </tr> <tr> <td>スーパー特進クラス</td> <td>60名</td> </tr> <tr> <td>特進Ⅰ類クラス</td> <td>70名</td> </tr> <tr> <td>特進Ⅱ類クラス</td> <td>70名</td> </tr> <tr> <td>アドバンスコース</td> <td>280名</td> </tr> </tbody> </table>				コース	定員	特別進学コース	200名	スーパー特進クラス	60名	特進Ⅰ類クラス	70名	特進Ⅱ類クラス	70名	アドバンスコース	280名
コース・クラス	評定値合計	欠席日数	学力特待認定試験																																		
スーパー特進クラス	38以上	3年間で原則30日以内	希望者																																		
特進Ⅰ類クラス	34以上		希望者																																		
特進Ⅱ類クラス	27以上																																				
アドバンスコース	23以上																																				
コース	定員																																				
特別進学コース	200名																																				
スーパー特進クラス	60名																																				
特進Ⅰ類クラス	70名																																				
特進Ⅱ類クラス	70名																																				
アドバンスコース	280名																																				
試験内容 作文(600字)・面接 【学力特待認定試験希望者】 ：スーパー特進クラス及び特進Ⅰ類クラス希望者を対象とする。 国語・数学・英語・面接				出願資格 中学校卒業後及び平成26年3月中学校卒業見込みの者。 試験会場 本校会場・行橋会場(京都ホテル：行橋市) 試験内容 国語・数学・社会・理科・英語 ※詳細については、募集要項で必ずご確認ください。なお、お問合せは下記までお願いいたします。 自由ヶ丘高等学校 TEL (093) 693-3090 FAX (093) 602-0324																																	

インターアクトクラブ新設

こんにちは。私は今年度新設されたインターアクトクラブの会長を務めさせていただくことになりました。田葉夏美です。「インターアクト」という言葉は、英単語の international (国際的な) と action (行動) とを組み合わせて作った造語です。12歳〜18歳までの若者を中心に、ロータリークラブという親クラブのもと、様々な人とかわり合いながらボランティア活動を行い次の事柄を学ぶことを目的としています。

- 1 各自の責任を果たし、一生懸命努力することのすばらしさを理解すること
- 2 他者を尊重し、進んで助ける態度を身につけること
- 3 国際理解と親善を推進すること

現在部員は1年生の男子5名、2年生の女子5名の計10名です。結成してからまだ日は浅いですが、薬物乱用防止キャンペーンや、個人でさまざまなボランティア活動に参加するなど積極的に活動を行っています。今後は地域の清掃活動や募金活動などを予定していますが、全ての活動をみんなで協力しながら「楽しく」をモットーに頑張っていこうと思っています。



福峰会 会則

第1章 総 則

第1条 本会は九州共立大学八幡西高等学校・九州女子大学付属高等学校・自由ヶ丘高等学校の同窓会で名称を「福峰会」と称する。

第2条 本会の本部を福原学園内に置く。

第2章 目 的

第3条 本会は、自由ヶ丘高等学校（以下「母校」）との連絡を保持するとともに、会員相互の親睦を密にし、併せて母校ならびに同窓会の発展を図ることを目的とする。

第3章 事 業

第4条 本会の事業は次のとおりとする。

- 1 会員の研修向上・親睦に関する事項
- 2 母校の充実発展の協力
- 3 母校の生徒に対する功労賞の贈呈
- 4 会誌（会報）等の発刊
- 5 その他必要と認められる事項（詳細は役員会に一任）

第4章 会員及び特別会員

第5条 本会は下記の会員をもって構成する。

- 1 正会員・・・福原高等学校・九州共立大学八幡西高等学校・九州女子大学付属高等学校・自由ヶ丘高等学校の卒業生
- 2 特別会員・・・母校の現教職員

第6条 会員は、住所、その他身上に変更等があるときは、その旨を本部宛に通知するものとする。

第5章 役 員

第7条 本会に次の役員を置く。

名誉会長	1名	幹 事	若干名
会 長	1名	会 計	1名
副会長	2名	会計監査	2名
幹事長	1名	書 記	2名
事務局長	1名		
事務局	若干名		

第8条 本会の役員設定及び任務は次の通りである。

名誉会長 自由ヶ丘高等学校校長を名誉会長とする。

会 長 役員の互選により選出され、本会を代表し会務を総括して役員会の議長となる。

副会長 役員の互選により選出され、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。

幹事長 役員の互選により選出され、会務の実施・運営を企画し指揮する。

事務局長 役員の互選により選出され、会務の実施・運営を行う。

事務局 会長がこれを委嘱する。事務局は、会務の実施運営を行う。

幹 事 会長がこれを委嘱する。

会 計 幹事は役員会を組織し本会業務を議決執行する。役員の中から選出し会計業務を行う。

会計監査 会長がこれを委嘱する。

書 記 会長がこれを委嘱する。会議などの管理・保管を行う。

第9条 役員は任期ならびに構成。会長、副会長、事務局長、幹事、会計、会計監査、書記の任期は3年とする。但し再任は、妨げない。また、補欠役員の任期は前任者の残任期間とする。

第6章 機 関

第10条 本会に下記の機関を置く。

- 1 総 会
- 2 役 員 会 随時
- 3 クラス幹事会 随時

第11条 総会は、定期総会と臨時総会とする。定期総会は毎年1回開催する。臨時総会は会長が必要と認めるときに役員会に諮り召集する。

第12条 総会の開催に当たっては、会員に期日場所及び目的を30日前に通知しなければならない。

第13条 役員会は、会長が必要と認めるときこれを召集する。

第14条 クラス幹事会は、会長が必要と認めるときこれを召集する。

第15条 総会において次の事項を決議する。

1 前年度会務	4 当該年度事業計画
2 前年度収支決算	5 当該年度収支予算
3 会計監査	6 会則改正

第16条 総会の議事はあらかじめ通知した事項以外にわたることができない。但し、会長が緊急の必要があると認めた事項はこの限りではない。

第17条 総会の成立、決議は次の通りとする。

- 1 成 立 当日総会会場に出席した会員数をもって成立する。
- 2 議 決 議会は出席総数の過半数の賛成によって議長が宣言した時議決したものとみなす。
- 3 運 営 総会には議長1名、書記1名を置く。

第7章 会 費

第18条 本会の会費は、次の通りとする。

- 1 本会の会計は、終身会費及び寄附金、その他をもってこれに充てる。
- 2 正会員は入会時（卒業時）に終身会費を納入しなければならない。
- 3 会費の支出については『福峰会』支出規定によりこれに定める。
- 4 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第8章 会 則 改 正

第19条 第15条6項の規定により、本会則の改正は役員会に諮り、当該年度総会の出席会員の過半数をもって可決する。

附 則

昭和60年11月一部改正
平成14年4月一部改正
平成18年10月一部改正

平成2年4月一部改正
平成17年10月一部改正

福峰会の事業活動について

福峰会の会則第三章第四条の事業は、五つの事業活動からなっています。

① 「会員の研修向上・親睦に関する事項」

学園創設者 福原軍造先生の墓参を、鞍手にあります長谷寺（福原家菩提寺）のご住職を迎えて、毎年八月に実施しています。

また、会員相互の親睦を図る目的で実施しております福峰会総会・懇親会ですが、平成十八年度より卒業年度の当番期制（卒業後三十年目）を取り入れていきます。



福原軍造先生墓参

② 「母校の充実発展の協力」

統合後十二年目を迎える母校「自由ヶ丘高校」は、近年更にもぎましい発展を遂げています。同窓会として物心両面の強力なサポートを推進していきます。

③ 「母校の生徒に対する功労賞の贈呈」

部活動の体育部・文化部において、全国大会出場のようなめざましい活躍をした生徒に「同窓会功労賞」を贈呈しています。平成二十二年度は五十七名、平成二十三年度は三十八名に功労賞を贈呈しました。

④ 「会誌（会報）等の発刊」

会誌『福峰会だより』を、年二回（卒業号・総会号）発刊しています。



福峰会だより発刊

⑤ 「その他必要と認められる事項」

入会記念として卒業証書用のバインダーを毎年贈呈しています。



卒業証書 バインダー

同窓会充実・発展、および会員の結束を図るため、同窓会事業にご理解とご協力をお願い致します。

事務局紹介

「福峰会事務局」は、九州女子大学正門右側の耕雲館四階にあります。総会等の同窓会行事はHPでお知らせしています。皆さん、お気軽にお越しください。



月・水・金 10:00~16:00
TEL 093-692-0278

福峰会 HP アドレス
<http://www16.ocn.ne.jp/~fukuho/>

福峰会（検索）→TOP
メールアドレス
fukuhokai@fork.ocn.ne.jp

総会実行委員募集中！

メール・電話・FAX・HPより、住所変更などの受付をしています。ご連絡お待ちしております。